

校長室だより



令和6年12月23日

春日井市立松原小学校

2学期 ありがとうございました

土曜日に冬至を迎え、かぼちゃを食べたり、ゆず湯につかったりしたのでしょうか。一年で一番昼の時間が短く、寒い時期になりました。そして、今日は2学期の終業式を行いました。

9月から始まった2学期。運動場で遊んだり、授業をしたりすることもできないくらいの酷暑から始まりました。その暑さは10月末まで続き、本当に冬は来るのだろうかと心配したくらいでした。校庭の木々の紅葉は、1か月ほど遅れ、極寒の冬はちゃんとやってきました。

今朝も冷え込みましたが、体育館で終業式を行い、次のことを子どもたちに伝えました。

<終業式 あいさつより>

とても暑い日が続いてなかなか練習できなかったけれど、みんなで力を合わせてがんばった体育発表会、自分の目で見たり、聞いたり、感じたりして学んだ校外学習や修学旅行、笑顔いっぱいだったペア学年による交流遊び、暑い中、寒い中歩いて行ったイトマンの水泳など、たくさんの学級や学年の行事を行うことができました。みんな、よくがんばりました。

特に高学年のみなさんが、落ち葉ひろい、ベルマーク、廊下歩行の声かけ、水道水の検査、通学班、トイレのスリッパ、下駄箱の整頓など、いろいろな場面で活躍する姿を見ることができて、感心することがたくさんありました。

冬休みは、家のお手伝いをするのがたくさんあると思います。日頃の「ありがとう」の気持ちを、家族のためにお手伝いという行動で示したらどうかな。窓拭き、ゴミ出し、お掃除、片付け、ご飯の準備や片付けなど、いっぱいお手伝いはあるはずです。この冬休み、がんばるみんなを応援しています。

さて、明日から14日間の冬休みが始まります。まずは、無事にみんなが冬休みを迎えることができたことに感謝しましょう。2学期、登下校中に大きなけがをしたり、事故にあったりした子はいませんでした。登下校を見守ってくださっている方々に感謝しないといけないね。お家の方、担任の先生や友だち、保健室の先生、そして見守りの方々など、毎日みんなのことを考え、支えてくれたみなさんに「ありがとう」の気持ちを伝えることができると思います。

冬休み中、交通事故にあったりしないように、元気に過ごしてくださいね。

3学期は、次の学年への準備の学期にもなります。心と体の準備をしっかりと、始業式を迎えてほしいです。

そして、先生からの宿題を2つ出します。

1つ目は、新しい年にがんばりたいことを一人一つずつ考えておいてください。始業式の日に聞きますね。

2つ目は、ベルマークを集めてほしいです。見つけたら、集めておいてください。

では、3学期、1月7日の始業式に元気なみなさんに会えるのを楽しみにしています。よいお年をおむかえください。来年もみんなにとって素晴らしい年になりますように。

保護者の皆様をお願いします。冬休みの間にお手伝い（家族の一員として）のチャンスを作ってあげてほしいです。大人の思い通りにはならないかもしれませんが、がんばった子どもたちを認め、ほめてあげてください。きっと、もっとがんばろう、またやろうという気持ちが芽生えてくると思います。学校でお手伝いを進んでしてくれる子どもたちに聞くと、家でもお手伝いをしていて教えてくれます。お風呂掃除、ごみ出し、ご飯の時など、自分の仕事が決まっているようです。ぜひ、そのチャンスを冬休みに作ってみてはいかがでしょうか。がんばるお子さんを見守ることは忍耐がいることですが、どうぞよろしくお願いします。

今年一年、学校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。大変お世話になりました。ご家族そろって、有意義な時間をお過ごしください。そして、よいお年をお迎えください。3学期の始業式は、1月7日（火）となります。元気な子どもたちに始業式で会えることを楽しみにしています。



冬休み くるくるリサイクルにご協力を

冬休みの間も、アルミ缶、牛乳パックの回収を職員玄関前で行います。（12月28日～1月5日は除く）アルミ缶は、北館昇降口前の緑の回収箱のふたを上げて入れてください。ベルマークや使用済インクカートリッジ、牛乳パックは職員玄関前の回収箱に入れてください。ベルマークは、集めておいて、3学期になったら、お子さんに持たせていただくと助かります。親子でくるくるリサイクル、ご協力をお願いします。

子は親の鏡

毎年、保護者のみなさんに紹介する本があります。昨年末にも、校長室だよりで紹介させていただきました。それは、「子どもが育つ魔法の言葉」です。初めて読んだ時は衝撃的で、自分はそんなことはない、ちゃんと子育てしてる、がんばっているって強がってしまいました。でも、それは、自分にもそういう時があると思っていただけだと何度も何度も読んでいくうちに気づき始めました。子育ては、いいときばかりではありません。つい、叱ってしまったり、子どもの話を途中で聞くことをやめてしまったり、反省ばかりです。でも、そうか、さっきは悪かったなと思ったら、正直に我が子にその気持ちを伝えることも子育てで大切なことだと思います。

親である私たちも人間です。はじめから、できることなんてありません。焦ることなく、我が子と一緒に育っていけばいい、私はそう思っています。

みなさんの子育てを心から応援しています。心配なこと、気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

冬休み、親子で過ごす充実した数分が繰り返されますこと、子どもたちが笑顔で過ごすことができることを心から願っています。よろしくをお願いします。



子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言いつて育つと、子どもはみじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引つ込み思案な子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛するようになる

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを学ぶ

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

わたしたち親は、子育てという、

人生でいちばんたいせつな仕事にとりくんでいるのです。

充実した数分は、どうでもいい一時間より価値がある

「子どもが育つ魔法の言葉（PHP）」より

☆ 笑顔であいさつ しっかり聞こう 元気にすごそう ☆

「何事にもチャレンジし自分らしく学び続ける子」「自分も相手も大切にして正しく行動できる子」